

印西市教育大綱の策定について

○策定の趣旨

平成27年4月に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされました。

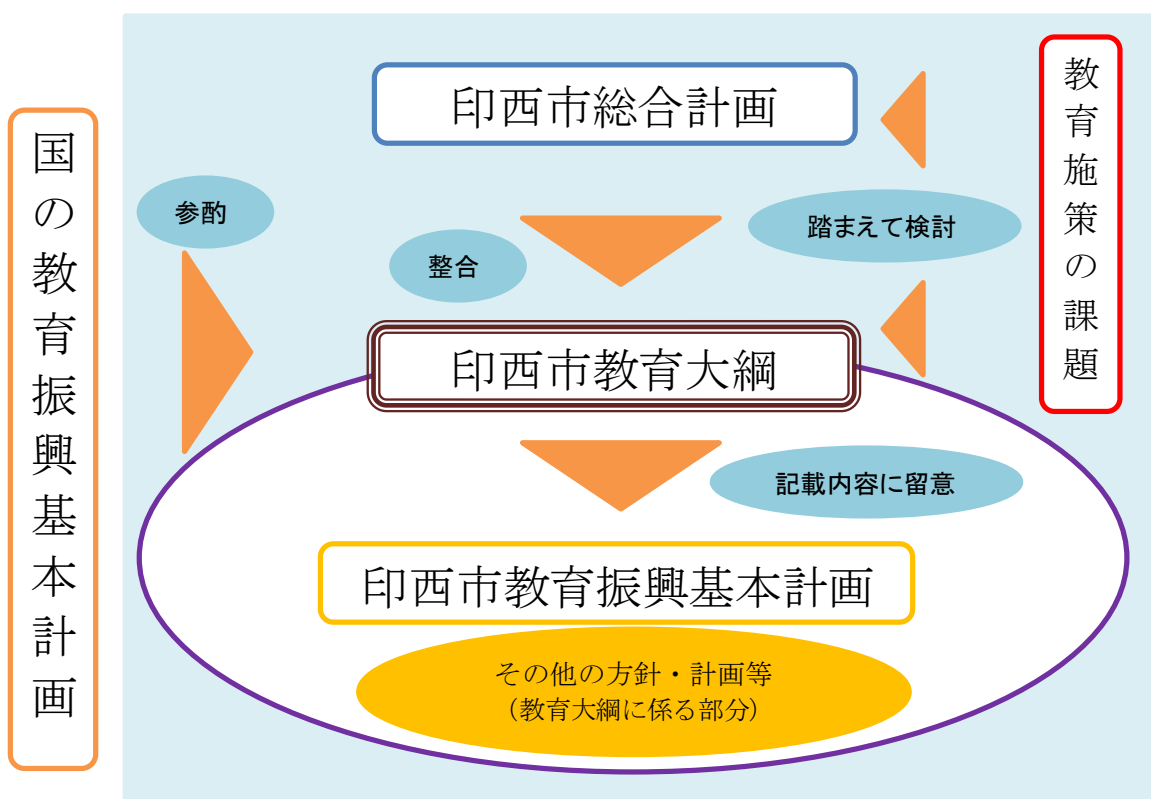
印西市においては、平成28年3月に印西市教育大綱（以下「大綱」という。）を策定し、市の目指すべき教育目標の実現に向け取り組んできましたが、この間も少子高齢化、技術革新及びグローバル化の進展、新型コロナウイルス感染症の拡大など社会を取り巻く環境は変わり、

また、現行の印西市教育大綱の期間についても令和2年度に満了を迎えることから、市の上位計画である総合計画と整合性を図りつつ、市の教育における目標や施策の根本となる方針を策定したものです。

○大綱の位置づけ

大綱は、印西市総合計画（基本構想・基本計画）を上位計画として、その目標の達成に向け、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について定めたものです。

大綱の位置づけのイメージ図



○大綱の基本目標 （次期印西市総合計画では、政策の大綱を次のとおり決めました。）

令和2年9月3日 議決

子どもたちの未来を育み誰もが心に豊かさをもたらすまちをつくれます

令和元年の日本人の国内出生数は約86万人で明治32年の統計開始以来、初めて90万人を下回っています。現在の少子化の傾向は、社会全体に多大な影響を及ぼす恐れがあることから、少子化対策を積極的に推進し、未来を担う子どもたちを守り、育てていく環境を整えていく必要があります。さらに、現代社会において、家族形態やライフスタイルが多様化し、さまざまな形の子育てニーズが高まっていることから、家庭が子育てと子どもの成長に喜びや生きがいを感じ、子どもが健やかで心豊かに成長することができるまちをつくれます。

また、情報化や国際化の進展などは、子育てや教育環境に大きく影響を与えることから、子どもたちが未来を拓くたくましい力を持ち、多様な可能性を伸ばすことができるよう、基礎的な学力の向上に加え、外国語に触れる機会やICTの活用など時代にあった教育の機会を設けるとともに、家庭・学校・地域が連携し、豊かな人間性を育むための充実した道徳教育などを推進します。

さらに、地域の伝統芸能や歴史、文化財の保護・活用を図り、次世代に継承していくとともに、市民一人ひとりが生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供や、優れた文化・芸術に接する機会の拡大に努めるなど、すべての市民が心に豊かさをもたらすまちをつくれます。

○大綱の基本方針

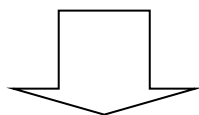
大綱には基本目標を実現するための4つの基本方針があります。

【学校教育の充実】

知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、生きる力を持ち
未来を拓く子どもを育むまちを目指します。

【現状と課題】

- 過去5年間に実施した全国学力・学習状況調査を見ると、市内児童生徒の学力については継続的に全国平均を上回っています。また、令和元年度に実施した学校評価を見ると、「進んで学習に取り組んでいる」に対し約85%、「授業は分かりやすい」に対し約88%、「家庭学習に取り組んでいる」に対し約87%の児童生徒がそれぞれ肯定的な回答をしており、前向きに学習に取り組んでいることが伺えます。
- 生きて働く「知識及び技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」の涵養の3つを柱とした資質・能力を育成するとともに、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める必要があります。
- 令和元年度に実施した学校評価を見ると、「友達を大切にしている」及び「自他の命を大切にし、感謝の気持ちをもって生活している」に対し約93%の児童生徒が肯定的な回答をしており、他者と協働することの重要性や生命の有限性・大切さを理解しながら生活していることが伺えます。
- 道徳科を要とした体系的・系統的な道徳教育を推進するとともに、体験活動や多様な表現、鑑賞活動を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努める必要があります。
- 令和元年度に実施した学校評価を見ると、「食事、運動、睡眠など、健康に気をつけて生活している」に対し約87%の児童生徒が肯定的な回答をしており、取り巻く環境が大きく変化する中で、適切な意思決定や行動選択を心がけて生活していることが伺えます。
- 運動に親しむ資質・能力の育成と体力の向上を図るとともに、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、学校給食を活用した効果的な食に関する指導を充実させ、健康で安全な生活を実践する能力と態度の育成に努める必要があります。



【取組の方向性】

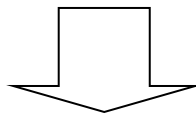
変化の激しい社会を生き抜くために必要な生きる力の育成に向け、学ぶ力・豊かな心・健やかな体をバランスよく育むとともに、自らの能力を引き出し、習得したことを活用して、様々な課題に対し主体的に解決できる児童生徒の育成に努めます。

【教育環境の整備・充実】

子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境が充実したまちを目指します。

【現状と課題】

- 公立幼稚園及び小中学校施設については、校舎などの老朽化が進行している状況にあり、施設の改修や学級増に対応した増築など、教育環境の充実を図る必要があります。
- 児童生徒の就学に対する支援を行い、教育格差が生じないよう引き続き保護者の経済的負担の軽減を図る必要があります。
- 増加する児童生徒数に対して、学校現場でのきめ細やかな指導・支援を実現するための人材確保及び適切な人員配置を図る必要があります。
- 少子化の進展等により児童生徒数が減少している地域と、宅地開発等により児童生徒数が増加している地域が混在しており、小中学校の小規模化と大規模化が同時に進行していることから、学校規模により生じる教育指導上及び学校運営上の課題を解消し、より良い教育環境を整えるため、適正な学校規模に基づく学校の適正な配置を進めていく必要があります。
- 国が提唱するGIGAスクール構想の実現に向け、情報化社会に対応した教育を実施するため、無線LAN やパソコンなどのICT環境の整備を推進しており、今後、更に児童生徒が適切な情報を選択し活用することができるよう情報活用能力を高める教育を進める必要があります。
- 様々な危険に対して、「自分の命は自分で守る」防災意識の定着を図るとともに、安全・安心で信頼される学校づくりを推進する必要があります。
- 社会に開かれた教育課程の実現に向け、学校・家庭・地域の連携や協働（コミュニティ・スクール）を一層推進する必要があります。



【取組の方向性】

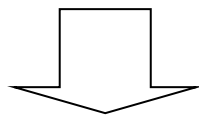
児童・生徒数が増加する本市において、子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設や教育環境を継続的に整えます。
また、現在の情報化社会に対応するため、情報活用能力の向上の取組を充実させます。

【歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興】

市民が様々な文化や芸術に触れ、市民文化を創造していくことのできる環境づくりを推進していくとともに、先人の残した文化遺産の価値や意義を次世代に適切に継承するまちを目指します。

【現状と課題】

- 歴史や文化財、自然が豊かな地域であり、これらを保護・保存・活用した取組を一層進めていく必要があります。また、歴史資料の整理を進めるとともにデジタル化を進め、多様な方法で資料にアクセスできるよう環境整備をする必要があります。
- 印旛歴史民俗資料館が老朽化していることや歴史資料が市内各所で保存されていることから、木下交流の杜歴史資料センターとの統合や資料の集約化を検討する必要があります。
- 印西市史編さん事業方針に基づき、引き続き市史編さん事業を進め、市史を刊行していくとともに、その周知・啓発を図っていく必要があります。
- 文化ホールでの芸術鑑賞事業などを効果的に実施していくため、指定管理者制度の導入について検討していく必要があります。
- 市民の文化活動の一層の活性化を図るため、(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設に、多目的ホールやギャラリーを整備し、市民が活動しやすい環境づくりに努め、さらなる文化芸術の振興を図る必要があります。



【取組の方向性】

市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりを推進します。文化・芸術振興のための施設整備や改修を計画的に行い、発表の場を確保するとともに、自主的な文化・芸術活動を積極的に支援し、豊かな心や地域に対する愛着心を醸成していきます。特に近年、団塊の世代をはじめとして文化活動への関心が高まりつつあり、子育て世代なども含め、市民のニーズに合った文化・芸術活動の推進に取り組みます。

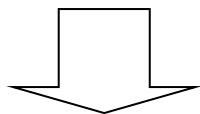
また、本市の歴史や文化財は、先人の残した文化遺産であり、その価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため、市民の郷土意識の涵養を図り、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財、地域史料の保護や保存及び活用を進めていきます。

【生涯学習の推進と青少年の健全育成】

生涯学習による人づくりやまちづくりを推進し、生涯を通じた生きがいのある暮らしの実現と豊かで活力のある地域づくりに貢献するとともに、地域で子どもたちを守り育てるまちを目指します。

【現状と課題】

- 少子高齢化やライフスタイルの多様化により、生涯学習に対する市民のニーズも変化しているなか、学習メニューの充実や開講日時の工夫により幅広い年齢層の参加促進を図るとともに、効果的な学習サービスの提供体制の構築に努める必要があります。
- 市内にある6館の図書館は、それぞれ創意工夫による運営と蔵書の整備を行っていますが、地域の情報やコミュニティの拠点として機能できるよう、図書館サービスの充実を図るとともに、運営を効率的に進め、利用しやすい環境整備に努めるため、指定管理者制度の導入の検討や施設整備の在り方について調査・研究する必要があります。
- 子どもたちの創造力や豊かな心の育成を目指し、子どもの読書活動の推進に努める必要があります。
- 公民館や図書館などの生涯学習施設は、老朽化が進んでいることから計画的な改修などを進めていく必要があります。
- 核家族化の進行、地域とのつながりの希薄化により、家庭や地域を含む社会全体の教育力の向上が課題となっています。青少年の健やかな成長を目指し、家庭教育学級、地域ぐるみさわやかコミュニティ推進事業、コミュニティ・スクールなどを通して、家庭教育の充実や学校・家庭・地域との連携・協働を推進する必要があります。
- 放課後子ども教室では、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ等の機会を提供していますが、さらなる充実を図り、子どもたちが放課後に安全・安心に過ごせる居場所となるよう努める必要があります。



【取組の方向性】

子どもから高齢者まで市民一人ひとりが自ら学び、生きがいや自己実現などにつながる生涯を通して学習ができる環境づくりを進めます。

また、生涯学習活動を通じて、地域への愛着を生み、地域づくりのための社会参加を促すとともに学習成果を地域に還元できるような支援を行うとともに、活動の場としての生涯学習施設の整備を推進します。

さらに、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育み、子どもたちが安全・安心で健やかに成長できるよう、学校・家庭・地域の連携を図り、青少年の健全な育成に向けた活動を推進していきます。

○大綱の期間

印西市総合計画の第1次基本計画との整合を図り、令和3年度から令和7年度までの5か年を大綱の期間とします。